

令和2年度天皇杯受賞者受賞理由概要
多角化経営部門

部門間等の連携と乳製品の商品開発による“湖華舞”ブランドの確立

○氏名又は名称 有限会社古株牧場（代表 古株 治明）

○所在地 滋賀県蒲生郡竜王町

○出品財 経営（6次産業化）

○受賞理由

・地域の概要

竜王町は、滋賀県東南部に位置し、東は雪野山、西は鏡山に囲まれ、気候は比較的温暖で、平均気温約15℃、降雪量も比較的少ない。農業は町の基幹産業で、近江米や近江牛の主産地であるとともに、果樹や野菜、そばの作付けも行われている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

有限会社古株牧場は先代からの水稻＋酪農に加え、平成9年から6次産業化（乳製品加工）の取組を開始。平成16年に法人化、平成17年に肉用牛肥育部門を導入し、部門間等の連携と肉用牛肥育、乳製品加工部門の事業拡大により、リスク分散を図りながら経営の発展を図ってきた。現在、常雇・臨時雇を含め27名の雇用を地域に創出している。

・受賞者の特色

（1）部門間等の連携と肉用牛肥育部門の飼養頭数の増加・牛肉輸出

水稻、酪農、肉用牛肥育に自家生乳を用いた乳製品の加工・販売を加えた多角化経営を展開。「牛ふん堆肥の水田への還元」「収穫後の稲わらを乳用牛、肉用牛への粗飼料として活用」「自社牧場の生乳を使用した乳製品の加工・販売」など部門間や地域耕種部門との連携を推進してきた。また、肉用牛肥育部門では、補助事業とABL等を活用した飼養頭数の増加と、滋賀県の平均を上回るA4ランク及びA5ランク以上の出荷比率を実現するなど、高品質牛肉の輸出にも取り組んでいる。

（2）6次産業化への取組

早くから乳製品を生かした6次産業化に着目し、地域の農業者の先駆けとして、ソフトクリームやジェラート、ピザ、チーズなどの加工販売や直売店舗の運営などの取組を開始し、主要な事業部門の1つにまで発展させた。商品については、自社ショップ「湖華舞」をはじめ、直売店2店舗のほか、有名ホテルや百貨店等でも販売され、古株牧場のブランドの確立とその位置付けを確固たるものにしていく。

・普及性と今後の発展方向

古株牧場の取組は県内畜産農家にとって刺激となり、県内において6次産業化に取り組み者が増加するなどその波及効果は大きい。今後は、各部門のさらなる発展を図るとともに、従業員に快適に働いてもらうための就業環境の整備も進めている。